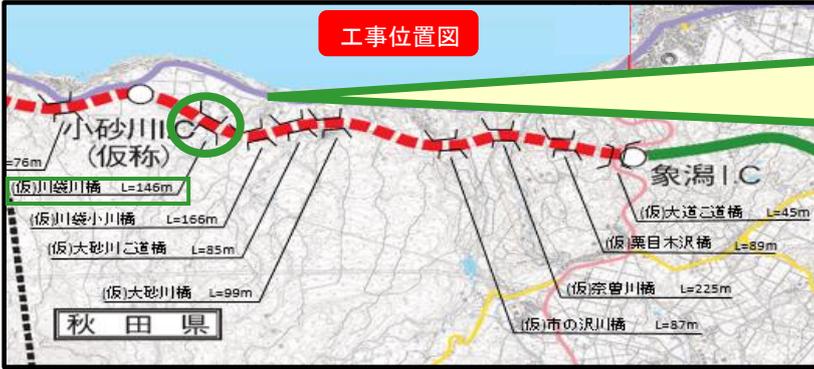


ゆ ざ き さ か た 遊佐象潟通信

発行：本荘地区監督官室
 問合せ：TEL 0184-23-4081
 令和5年 5月24日
 【第22号】



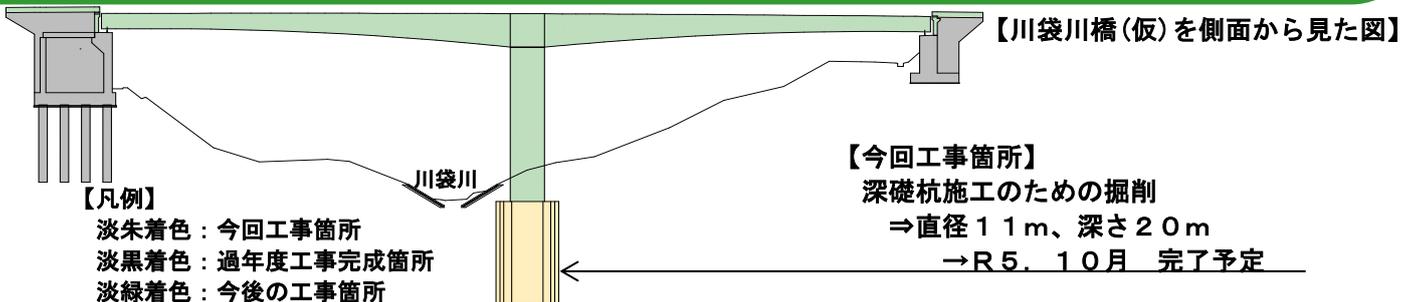
【工事名】
 川袋川橋下部工工事
 【施工】
 株式会社 沢木組
 【工事場所】
 にかほ市象潟町
 大須郷字下熊沢 地内

川袋川橋下部工工事は、遊佐象潟道路 小砂川 I C (仮)～象潟 I C 間の小砂川 I C (仮)に近い位置での工事です。工事内容は、準用河川川袋川(にかほ市管理、鮭の遡上有名)を渡河する“川袋川橋(仮)”の基礎部である“深礎杭を施工するための掘削”です。直径11m(10t大型トラックの長さと同様)、深さ20m(本荘第一病院の高さとほぼ同じ)にわたり円筒状に掘り下げていきます。

今後も、令和7年度の開通を目標に、沿線住民の皆様のご理解・ご協力を得ながら、無事故で工事を進めていきますので、温かく見守っていただければと思います。何卒、宜しくお願いします。

【各用語の説明】

- I C ⇒ インターチェンジ：高速道の出入り口(皆さん、馴染みのある単語ですよ・・・)
- 準用河川 ⇒ じゅんようかせん：1級・2級河川以外で市町村長が指定した河川(聞き慣れない単語かと思いますが・・・)
- 深礎杭 ⇒ しんそぐい：重機搬入困難な地形や、転石混じりで機械掘削の適さない現場で、人力や小型機械で所定の深さまで掘り下げた後に鉄筋を組み立て、コンクリートを流し込んでいく杭(まさしく、今回のような“山間部の河川”地形に適しており、平地部ではあまり見かけない工法です・・・)



【工事現場全景】
 小砂川 I C (仮)を背に象潟 I C 方向を望む



【工事現場近景】
 川袋川に重機が上られる仮栈橋を架けてます



【工事現場を上空から眺める】
 約11m掘削、今のところ順調です

工事担当者へインタビュー ～ “熱盛” の工事現場 vol.1～

【インタビューを受けていただいた方】

株式会社 沢木組 堀井勝司さん(今回工事の監理技術者)

※監理技術者とは、工事において“施工計画・工程・品質等の技術的管理及び工事従事者への指導監督”する立場の人(簡単にいうと“親方”です)

①土木工事に携わった経験年数は？監理技術者としての経験年数は？

経験年数38年、監理技術者として30年です。

②今回工事の難儀なところは？

川袋川は橋梁交差箇所の下流に鮭漁業ふ化場があるため、工事による水質汚濁に特に神経を使います。

③今回工事の勝負所(時期・施工箇所等)は？

掘削深さ20mのうち、中盤以降(約13m付近)の掘削が地盤が固くなるため勝負所と言えます。

④1日の仕事が終わった時に思うことは？

“今日も無事故で終わられた”との全てのことへの感謝です。



インタビューを受けていただきありがとうございました。次は貴方の現場で“熱盛iiiiii！！！” to be continued・・・